



TITLE:

表紙・編集後記・目次

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次. 英文学評論 1979, 40

ISSUE DATE:

1979-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/135118>

RIGHT:

英文学評論

第 XL 集

目 次

<i>Beowulf</i> における酒宴のたのしみ……………	佐々部 英 男
キーツの死の諸相……………	藪 下 卓 郎
『マソヌイの子マース』対訳……………	蜂 谷 昭 雄
シェイクスピア劇とローマ史の人物像 ——プルタルコスを中心に—— 『ジュリアス・シーザー』論（その三）……………	木 村 輝 平
ハーヴァード大学ホートン・ライブラリー蔵 フェノロサ資料 I 序……………	村 形 明 子
Theories Behind Language Acquisition Theories……………	David Sell

京都大学教養部英語教室

目次

<i>Beauty</i> における酒宴のたのしみ	佐々部 英男	(一)
キーツの死の諸相	藪下 卓郎	(一九)
☆	☆	☆
『マソヌイの子マース』対訳	蜂谷 昭雄	(1)
シェイクスピア劇とローマ史の人物像ープルタルコスを中心にーⅢ		
『ジュリアス・シーザー』論(その三)	木村 輝平	(63)
ハーヴァード大学ホートン・ライブラリー蔵フェノロサ資料Ⅰ 序	村形 明子	(78)
Theories Behind Language Acquisition Theories	David Sell	(111)

編集後記

われわれの『英文学評論』も近年は順調に歩んで、今回で第四十号に達する。五十号記念特大号を出すことが出来るのも遠い未来ではなからう。しかし最初の「評論」的なまとまりからはかなりはみ出したかもしれないが、そういう一種まとまりのなさも健全なことであらう。今回は量的に横組みが圧倒的に多く、どちらが表か裏か分らなくなりそうであるのは、縦組みに統一されていた時代とは今昔の感がある。

昨年、大浦幸男教授が退官されたことは前号でも触れられているが、代って京都国立博物館から村形明子助教授をお迎えした。初めての公募人事でもあったが、広い視野から人選出来たことは幸いであった。今号でも早速執筆していただけたが、若い同僚がつぎつぎ力篇を寄せて下さるのは心強いことである。

(編集委員)

英文学評論

非売品

昭和五十四年一月三十一日 発行

編集者

京都大学教養部英語教室

代表者 青木啓治

印刷所

明文舎印刷株式会社

京都市南区吉祥院池ノ内町一〇

発行所

京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XL January 1979

CONTENTS

Medudream in *Beowulf*..... Hideo SASABE
Aspects of Death in John Keats..... Takuro YABUSHITA
“Math uab Mathonwy”—A Parallel Translation.....Akio HACHIYA

Roman Historic Figures and Shakespeare:
 A Historical Approach to Shakespeare’s Roman Plays with
 Special Reference to Plutarch—Part I On *Julius Caesar* (iii)
 Teruhira KIMURA

The Ernest F. Fenollosa Manuscripts at the Houghton Library,
Harvard University(I)
 A Catalogue with an Introduction..... Akiko MURAKATA

Theories Behind Language Acquisition Theories.....David SELL

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY